

## 自治組織「共和の郷・おだ」視察研修報告

徳地地域づくり協議会より19名参加（平成27年3月12日）

徳地地域づくり協議会  
会長 板垣 幸男

広島県東広島市小田地区は、広島県の中部に位置し、13集落、世帯数213戸、人口650人、高齢化率42%の中山間地域にあり、稲作等の兼業農家（兼業化率80%）が多い地域です。

小田地区は、平成10年頃より児童数、園児数の減少に加え、診療所が閉鎖されました。その頃から、このままでは小田地域はますます寂れ、過疎化が進み、やがて集落が崩壊するのではないか「江戸時代から受け継がれてきた小田地区が消滅するかもしれない。」という危機感を共通認識するようになりました。その危機感が、小田地区住民全部に広がり、これを機に「自分たちの手で地域を守り、活性化しよう」という気運が盛り上がりました。

そこで住民を対象に、33回の会合を開き、平成の大合併を前に、平成15年10月に「共和の郷・おだ」が設立されました。

「何もやらなければ言い訳が出る。中途半端にやれば愚痴がでる。一生懸命やれば知恵が出る。いまこそ創意工夫で夢を実現しよう」を合言葉に集落の枠を超えた自治組織で集落地域の大きな安心と希望をつなぐ「小さな拠点」づくりを実践しています。

この「小さな拠点」は、徳地の出雲地区、八坂地区、柚野地区、島地区、串地区に相当します。小田地区でも、部会を中心に活発に活動し、着々と成果を上げています。

徳地の各地区においても、部会活動が地域づくりの原点と理解し、積極的に会議等を開催し、事業を推進していくことが、地域の幸せにつながります。「住みやすい地域、これからも住みたい地域づくり」を目指して頑張りましょう。

また、小田地域では廃校のためスクールバスで通学していますが、そのスクールバスに地域住民の乗車を可能にして利便性を図っており、公共交通機関の不便な、徳地地域でも見習うべきものがあると思います。

現在、小田地区では10年先のビジョンを作成しています。

ビジョン必要性についての論法は・・・

ビジョンがあると気持ちが変わる。(やる気になる)

気持ちが変わると、思考が変わる。

思考が変われば、行動が変わる。

行動が変われば、結果が変わる。

ビジョンがあると、結果が変わる。

